

肥満症治療薬ウゴービ(週1回注射) 医仁会で保険適応 厚労省最適使用推進ガイドラインの基準を満たす施設で保険適応。 医仁会武田総合病院も対応。(糖尿病科 月・金細田外来が対応)

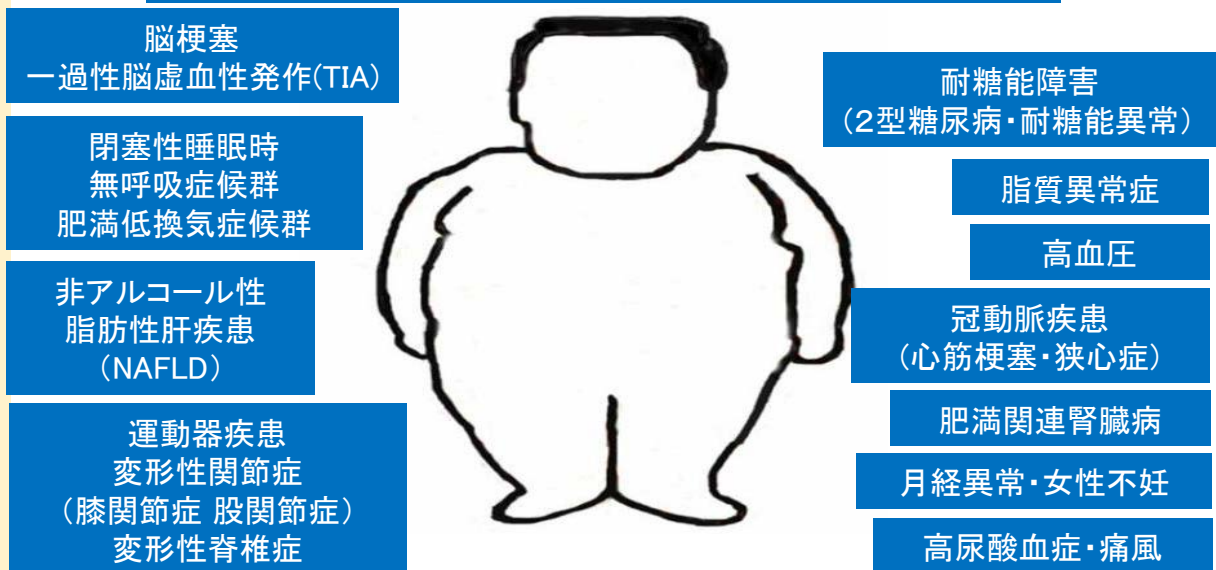
糖尿病でBMI25以上ではGLP-1関連薬等含めた対応を検討しますので、御紹介願います。

糖尿病の無い場合、GLP-1受容体作動薬ウゴービでの対応を検討します。
高血圧薬または脂質異常症薬の投与中である事が必須。
当院希望者多く、外来枠、栄養指導枠に限界あり、
体重100kg以上またはBMI35以上の方に限って対応します。

食事・運動療法を守らないと、ウゴービで肥満改善しませんので、食事療法と運動療法を行う事が、条件となります。

厚労省の規定により、当院で6ヶ月以上1回/2ヶ月栄養指導、週150分以上運動療法で十分な効果無い場合、投与開始で、最長68週投与で中止する必要があるため、当院は68週で十分な減量効果を目指し減量入院の併用を推奨します。当院では嘔吐を伴う摂食障害既往は適応外とします。

肥満症の健康障害(11項目) (肥満症ガイドライン2022)



食事・運動・行動・薬物療法
肥満症患者のQOLの改善

かかりつけ医から医仁会武田総合病院患者サポートセンターへ紹介状を
FAX(075-572-6276)頂き予約下さい。紹介状と予約の両方が受診に必須。

入院では、看護師、薬剤師、健康運動指導士、管理栄養士、臨床心理士、連携室によるチーム医療が行われ、全職種による多職種カンファレンスで、全員で患者さん毎に情報共有し、治療方針について相談します。(医仁会患サポだより 糖尿病 2023)で検索される糖尿病センターの患サポだより参照



看護部

薬局

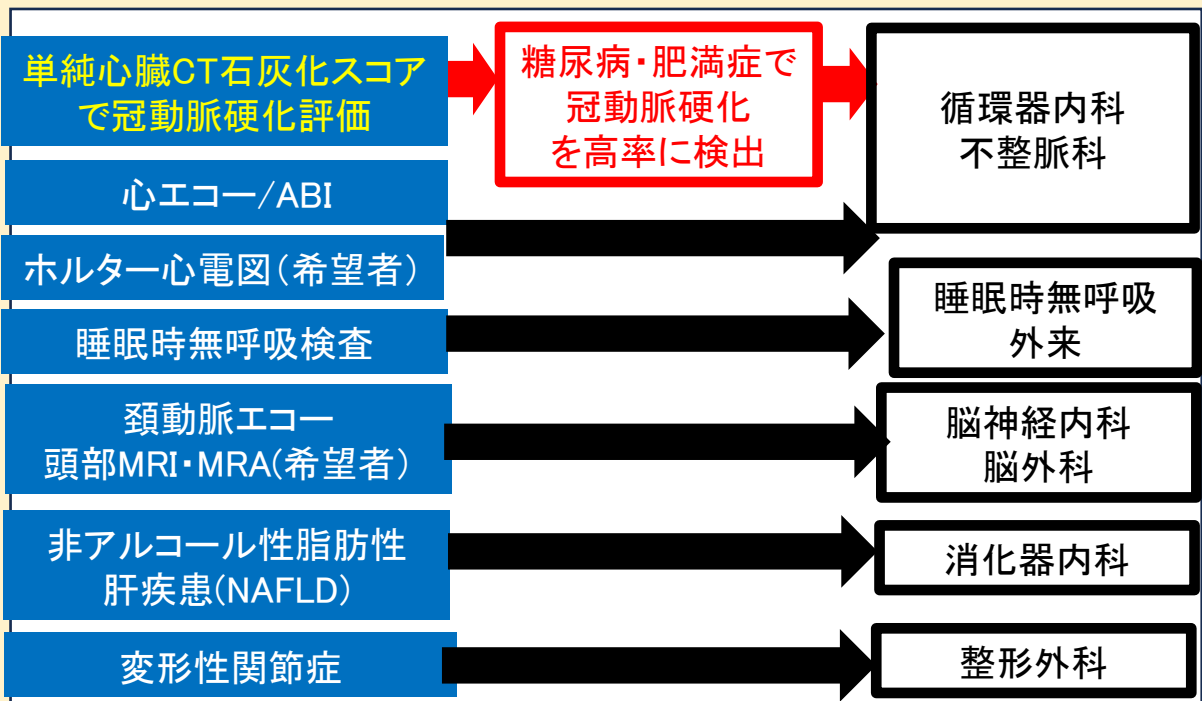
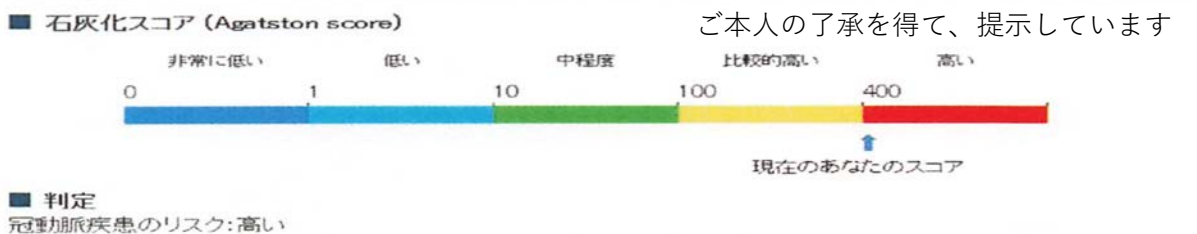
疾病予防センター

栄養科

臨床心理士

他科と連携して、肥満症の全身の健康障害を精査・加療します

初診で採血結果待ち時間で低被曝単純心臓CT石灰化スコア等で心疾患スクリーニング。心腎脳合併症の発見は患者さんの治療への強い動機付け



主に外国からですが、2型糖尿病、肥満者、高度肥満者等で、動脈硬化性心血管疾患、ラクナ梗塞、慢性心不全、慢性腎臓病へのGLP-1による予後悪化の抑制効果が報告されています。